

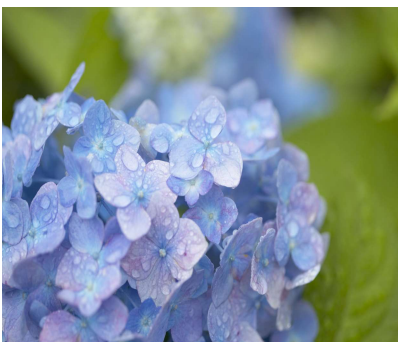
第2回部会が開催されました

第1回全体会后、各部会の今年度の部会活動が本格的に始まりました。
CSだより第2号では、各部会ごとの今年度の「協働」・「熟議」の方針等についてお知らせいたします。他部会の取組を互いに「共有」し合うことで、さらに深まりのある活動へとつながっていくことと思われます。
第2回部会では、授業参観等をとおして、園児・児童・生徒の様子を見ていただきました。実際にこどもの活動の様子を見ていただくことで、テーマの実現に向けての視点がより鮮明に浮かび上がってきていることが、報告書からも伝わってきました。また、テーマに関すること以外の学習面や生徒指導面について、率直な感想や意見が述べられたり、タブレットの家庭への持ち帰りについて意見が述べられたりと、内容的にも深まりが見られました。
なお、休止中の「矢吹の教育を考える会」の「4つの提言」については、今後の部会・全体会等をとおして、その視点も大切にしながら、CSの活動と関連づけながら、取り組んでいくことが大切であるという認識で一致しました。
また、テーマに関すること以外でも、各学校のそれぞれの課題や、今年度ならではの行事等についても、話し合いが行われ、委員のみなさまから「何か手伝えることはないか」という声が寄せられるなど、「学校の応援団」としてのCS本来の機能が生きた話し合いが行われました。

第2回部会より（順不同）

矢吹中学校部会（6月13日）

授業参観の後、協議を行った。
学校の現況については、第1学期中間テストがないことについて、また、修学旅行の時期などについて質問が出された。
「協働」の取組内容については、「矢吹創生学」についての説明があり、企業の考え方と一致しているとの声も聞かれた。
「熟議」への取組については、小さなものでも、そこから町を動かせるようなものができればという意見が出された。



三神小学校区部会（6月12日）

授業参観の後、協議を行った。
幼稚園での活動や、小学校の授業を参観し、それぞれのよさについて感想等が述べられた。
テーマである「あいさつ」については、幼稚園では「おはよう」や「バイバイ」等が自然に言うことができている。小学校では、学ぼうとする意欲が高く、友達との活発な意見交換がなされ、ALTとも中学生レベルの受け答えをしている姿も見られるという声が聞かれた。また、今後も幼小連携を積極的に進めていくことや、創立150周年記念行事、制服等についても、話し合われた。

中畑小学校区部会（6月21日）

保育参観を行い感想等を述べ合い、その後「協働」の具体的内容等についての話し合いを行った。

参観をとおして、整った環境の中で園児達が特性を生かしながら、のびのびと活動している姿が見られたという感想が述べられた。

今年度の取組については、小学校では「ぬり絵」を継続して行い、看板を設置することや、KOKOTTO以外の町内各所に作品を展示したいという意見が出された。

幼稚園では、「ぬり絵」の実施と、「親子ポスター」の募集について検討してみたいという意見が出された。

また、CS委員の顔写真を入りに貼り出すことで、視覚に訴え知名度を上げていきたいという声もあった。「教育講演会」の実施を望むという意見もあった。



善郷小学校区部会（6月17日）

授業参観の後、協議を行った。

授業参観についての話し合いでは、様々な質問等が出された。

- ・子どもの発言を教師が繰り返す意図は？
- ・低学年が筆入れを使っていないのはなぜか？
- ・なりたい自分になるために、どんな目標を立てるのか？ また、どんなことに気をつけないといけないか？
- ・机の大きさについて
- ・自主学習の取組について

あいさつについては、積み重ねが大事ではないかという意見が出された。

矢吹小学校区部会（7月5日）

授業参観の後、協議を行った。

- ① あいさつについては、幼稚園では担任による繰り返しの指導を、小学校では、あいさつ運動と語先後礼の伝統を継続している。
- ② 本に親しむでは、幼稚園では音楽をかけながらの読み聞かせや、持ち帰り読書の実施、小学校では、「家読」の励行や、移動図書館の活用、司書による図書館オリエンテーションの実施など。
- ③ 園・学校・町が好きになるでは、幼稚園では、小学校訪問、公園遊び、小学校では、校内ボランティア、「町をきれいにしよう」校外学習の実施など。

地域の課題や要望を吸い上げる

効果的な方法について

◎ 課題という情報を「送る側」も「受け取る側」も簡単で楽な方法を選択することがポイント

- ① 容易なチャンネル（簡単な）
- ② 多様なチャンネル（たくさんの）
（バランスをとって）

◎ 学校の課題も含め学校で受けた地域の課題や要望を学校運営協議会で差配（とりあつかうこと）していくイメージの方が運用しやすいのではないかと

（学識経験者）佐久間邦友委員

第2回全体会「熟議」スタイルについて

11月9日（水）に予定されている第2回全体会では、今年度のテーマへの取組状況等についての全体での「熟議」を予定しています。昨年度の「熟議」では、前半は「部会の枠を超えた熟議」、後半は「部会に戻った熟議」を行いました。

今年度の「熟議」のあり方について、アイデア等がありましたら、部会の折にでも話題にさせていただければと思います。委員の皆様からのご意見をお待ちしています。